

代表者会議説明資料

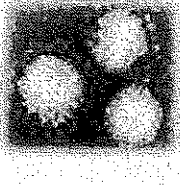
医療保健部

1 新型コロナウイルス感染症への対応について

コロナウイルス感染症について

- 中国湖北省武漢市において、昨年12月以降、病原体不明の肺炎患者が発生し、後にそれが新型のコロナウイルスによるものと判明した。
- コロナウイルスとは、一本鎖(+鎖)RNA※で構成されたウイルスである。
※二重らせんを形成していないRNA
- コロナウイルスには、いわゆる風邪の原因となる4種 (HCoV-229E, HCoV-OC43, HCoV-NL63, HCoV-HKU1) と、重症肺炎を引き起こす2種 (SARS-CoV, MERS-CoV) が知られている。
- 表面に存在する突起が王冠(crown)に似ていることから、ギリシャ語にちなみコロナcoronaと名付けられた。

<コロナウイルス>



感染経路		臨床症状		治療・予防
<ul style="list-style-type: none"> ・ HCoV-229E ・ HCoV-OC43 ・ HCoV-NL63 ・ HCoV-HKU1 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 咳、飛沫、接触による感染。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 潜伏期間は2～4日。 ○ 主に鼻炎、上気道炎、下痢等を引き起こす。 ○ 通常は重症化しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 潜伏期間は2～10日 (SARS-CoV) 2～14日 (MERS-CoV)。 ○ 上記症状に加えて、 <ul style="list-style-type: none"> ・ SARSでは高熱、肺炎、 ・ MERSでは高熱、肺炎、腎炎を起こしうる。 	<p><治療></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特定の治療法はなく、対症療法で治療。 <p><予防></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 有効なワクチンはない。 ○ 手指や呼吸器の衛生、食品衛生の維持を心がける。 ○ 咳、くしゃみなどの呼吸器症状を示す人との密接な接触を避ける。
<ul style="list-style-type: none"> ・ SARS-CoV ・ MERS-CoV 	<ul style="list-style-type: none"> ○ SARSは上記に加えて便にも注意。 			

(出典) 第36回厚生科学審議会感染症部会(令和2年1月27日) https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_09136.html 資料

<参考>

発生年	発生状況	感染者数	死亡率	出典	
SARS 重症急性呼吸器症候群	2002年 北半球のインド以东のアジアとカナダを中心に、32の地域や国々へ拡大	8,096人	774人	9.6%	国立感染症研究所 SARS(重症呼吸器症候群)とは https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansenshohanshi/414-sars-intro.html
MERS 中東呼吸器症候群	2012年 アラビア半島諸国を中心に発生	2,496人	858人	34.4%	厚生労働省 中東呼吸器症候群(MERS)について https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/mers.html

国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態 (PHEIC)について

PHEICとは

・WHOが定める国際保健規則 (IHR) における次のような事態をいう。

- ① 疾病の国際的拡大により、他国に公衆の保健上の危機をもたらすと認められる事態
- ② 緊急に国際的対策の調整が必要な事態

・WHO参加国は、自国領域内で発生した国際的に懸念される公衆衛生上の事象を評価し、WHOに通告しなければならぬ。

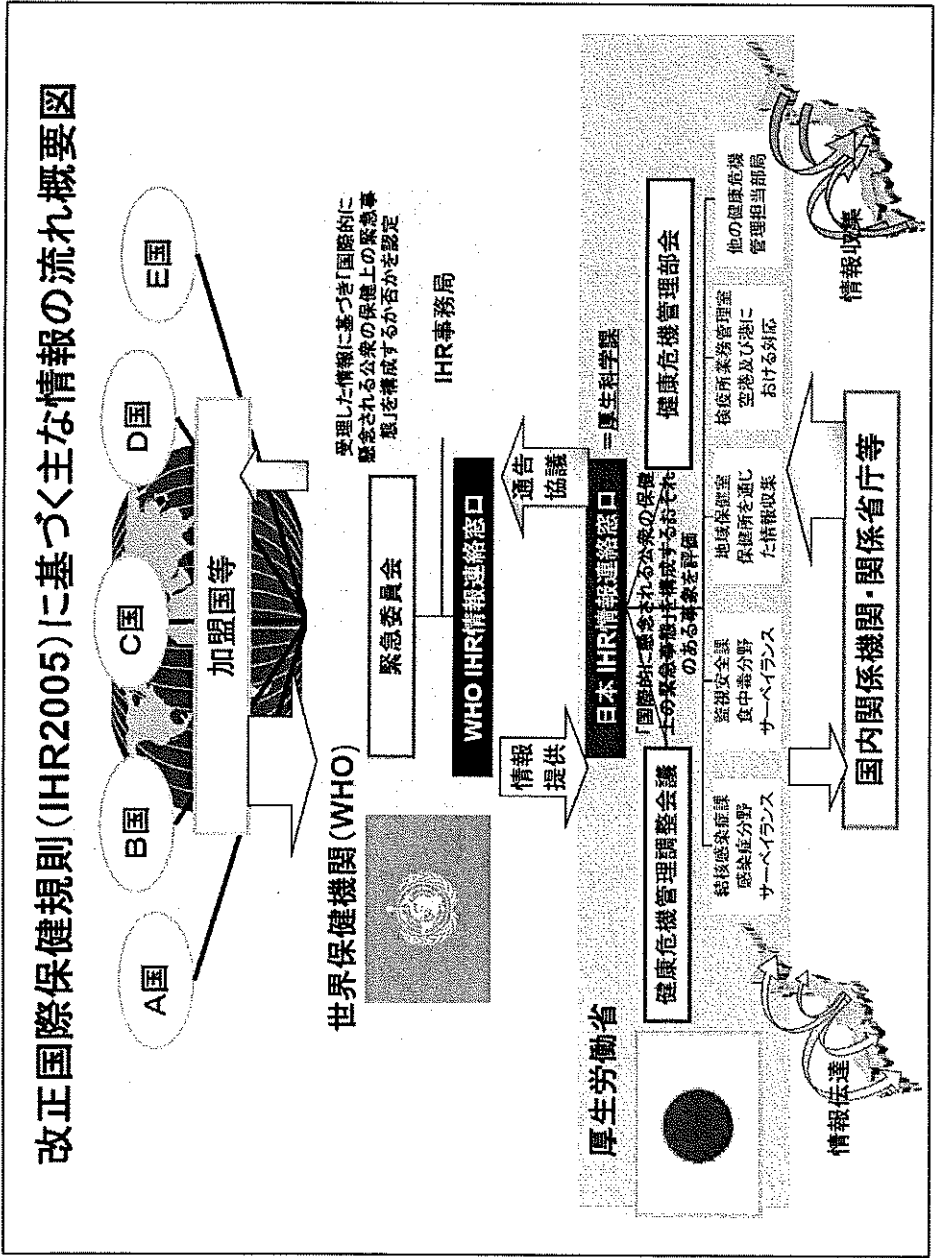
・通告を受けたWHOは、緊急委員会を開催し、当該事象がPHEICに該当するかどうかを判断する。

・WHO事務局長は、緊急委員会の見解、保健上の措置・勧告（検査の強化など）をWHO参加国に伝達する。

2020年1月24日未明（日本時間）にWHOから、「PHEICには該当しない」と公表された

2020年1月31日未明（日本時間）にWHOが、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態 (PHEIC) ”を宣言

2020年2月1日、指定感染症（感染症法）、検査感染症（検疫法）に指定



PHEIC宣言された事象

- ・2009年 新型インフルエンザA(H1N1)
- ・2014年 野生型ポリオの国際的拡大
- ・2014年 西アフリカでのエボラ出血熱の流行
- ・2016年 ジカ熱の国際的拡大
- ・2019年 コンゴ民主共和国でのエボラ出血熱流行
- (※) 2003年のSARSの際、PHEICは存在しなかったが、WHOはglobal alertを発生している。
- 2013年のMERSの中東での流行 (2015年韓国でのアウトブレイク) の際には、PHEIC指定は見送られている。

(参考) 厚生労働省ウェブサイト、中華人民共和国湖北省武漢市における新型コロナウイルス関連肺炎に関する世界保健機関 (WHO) の緊急事態宣言 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_09241.html

中華人民共和国湖北省武漢市における新型コロナウイルス関連肺炎について（令和2年1月30日版） 抜粋

国外の発生状況 1/30 12:00現在			
国・地域	感染者	死亡者	
中国	9,692名	212名	
タイ	14名	0名	
シンガポール	13名	0名	
台湾、オーストラリア、マレーシア	9名	0名	
	8名	0名	
韓国	7名	0名	
米国、フランス	6名	0名	
ベトナム	5名	0名	
ドイツ、アラブ首長国連邦	4名	0名	
カナダ	3名	0名	
イタリア	2名	0名	
ネパール、カンボジア、スリランカ、フィリピン、インド、フィリピン	1名	0名	
合計	9,788名	212名	
			(致命率 2.2%)

国内の発生状況 1/29 12:00現在 確認されている患者						
確定日	年代	性別	居住地	病状	入院状況	帰国時の感染症の発生状況
1	1/16 30代	男	神奈川県	全快	退院	なし
						38名特定健康観察1/24終了
2	1/24 40代	男	中国(武漢市)	軽快	入院中	なし
						17名特定健康観察実施中
3	1/25 30代	女	中国(武漢市)	軽快	入院中	なし
						7名特定健康観察実施中
4	1/26 40代	男	中国(武漢市)	軽快傾向	入院中	なし
						2名特定健康観察実施中
5	1/28 40代	男	中国(武漢市)	病状安定	入院中	なし
						3名特定健康観察実施中
6	1/28 60代	男	奈良県	病状安定	入院中	No.8
						22名特定健康観察実施中
7	1/28 40代	女	中国(武漢市)	病状安定	入院中	なし
						2名特定健康観察実施中
8	1/29 40代	女	大阪府	病状安定	入院中	No.6
						10名特定健康観察実施中
9	1/30 50代	男	中国(武漢市)	症状あり	入院中	なし
						チャーター便
10	1/30 50代	男	三重県	症状あり	入院中	なし
						調査中
11	1/30 30代	女	中国(湖南省)	症状あり	入院中	なし
						2名特定健康観察実施中
12	1/30 20代	女	京都府	症状あり	入院	なし
						2名特定健康観察実施中

1月31日 12:00時点で確認されている感染者は12名（その他無症状病原体保有者が確認されている）
（疑似症サーベイランス実施件数42件、うち11件が陽性：陽性率 26.2%）

(引用) 厚生労働省ウェブサイト
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
 ・中華人民共和国湖北省武漢市における新型コロナウイルス関連肺炎について
 (令和2年1月30日版)

新型コロナウイルス感染症に関連した肺炎患者の発生について（第2報）

1月30日（木）17時、三重県保健環境研究所の検査により、中華人民共和国湖北省武漢市に滞在歴のある県内在住者（50代男性）が新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。

県内で新型コロナウイルスに関連した患者の発生が確認されたのは初めてです。

本件について、濃厚接触者の把握を含めた積極的疫学調査を確実に行ってまいります。

1月30日の資料から下線部分を更新しました。

【概要】

- (1) 年代： 50代
- (2) 性別： 男性（外国籍）
- (3) 居住地： 三重県
- (4) 症状、経過：
 - 12月24日～1月13日 武漢市に滞在（帰省）
 - 1月25日、26日 38℃の発熱
 - 1月27日 救急搬送により医療機関を受診。インフルエンザ迅速検査は陰性、画像所見にて肺炎像なく、自宅療養となった。
 - 1月28日 39℃の発熱
 - 1月29日 医療機関を再受診。画像検査にて肺炎の所見があるため入院。新型コロナウイルス感染症の検査を実施した。
 - 1月30日 17時、検査の結果、陽性だった。
現在、入院中です。
 - 1月31日 引き続き入院中です。
- (5) 行動歴：
 - 12月24日～1月13日 武漢市に滞在した。
 - 本人からの報告によると武漢市の海鮮市場には立ち寄ってない。
 - 中国において、肺炎等の患者との明確な接触歴はない。
 - 武漢市で外出中は、マスクを着用していたとのこと。
 - 現在のところ、不特定多数との濃厚接触により、感染を拡大させるような行動歴は確認されていません。
- (6) 接触者調査：現在調査中ですが、濃厚接触者3名を特定し、健康観察を実施中です。

※1月31日17時現在、三重県保健環境研究所において計2件の検査を実施済み。そのうち1件が陽性、1件が陰性です。

新型インフルエンザ感染症関係 相談電話件数

令和2年2月2日 21時現在

月日	件数	受付時間
1月29日(水)	10	13時～17時(4H)
1月30日(木)	59	9時～21時(12H)
1月31日(金)	588	〃
2月 1日(土)	150	〃
2月 2日(日)	74	〃
計	881	